

■韓国：米国の空港が韓国の電気自動車を導入

韓国科学技術院（KAIST：Korea Advanced Institute of Science and Technology）は2011年1月29日、KAISTが開発したオンライン電気自動車（OLEV）技術に関して、米国ボストンのローガン空港管理会社から実用化の要請があったと発表した。このOLEV技術は、EVが走行中でも充電可能なシステムで、米国タイム誌の「2010年最高の発明50品」に選ばれている。ローガン空港管理会社は、空港で使用する50台のバスをOLEVバスにするとしている。OLEVバス（6～7億ウォン／台（約4,400～5,100万円））の組立ては米国で行うため、KAISTは技術ライセンス料のみを受け取ることになる。KAISTの関係者は「今後、米国の大都市や空港、あるいは環境に敏感な欧州諸国などにOLEV技術が広まる可能性がある」とコメントしている。